令和５年度　経営発達支援事業・事業継続力強化支援事業
モニタリング検討委員会議事録

１．評価機関名　　音更町商工会　モニタリング検討委員会
２．開催日時　　令和 6 年 3 月 25 日（月）14 時 00 分～14 時 40 分
３．開催場所　　音更町商工会　研修室
４．出席者名
（１）外部有識者
　　原口　勝全　　㈱原口経営ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄｵﾌｨｽ代表　中小企業診断士
（２）音更町商工会
　　山本　英明　　会長
　　村瀬　正明　　副会長・モニタリング検討委員会委員長
　　千葉　　悟　　理事・総務広報委員長
　　富田　秀彦　　事務局長
　　角谷　　稔　　法定経営指導員
　　佐佐木知成　　補助員
（３）音更町
　　櫻井　智和　　商工観光課長
　　清水　一文　　商工観光課商工労政係長
　　三浦由樹恵　　商工観光課商工労政係主任

５．議事経過の要領及びその結果
　定刻となり、事務局の富田局長が開会を宣し、村瀬委員長が開会挨拶を行うとともに、議長となり議事に入った。

（１）経営発達支援事業の実施状況報告及び事業評価等について

　村瀬議長より事務局に対して説明を求め、角谷経営指導員が経営発達支援事業の実施における事業評価の趣旨を説明し、資料３の事業評価シート（令和５年度）に基づき下記の通り説明を行った。

Ⅰ地域の経済動向調査に関すること【指針③】

①地域経済分析システム“ＲＥＳＡＳ”を活用した調査・分析

【実施内容】ＲＥＳＡＳの地域経済に関する様々なビッグデータを利用して、人口動態や産業動態の調査・分析を行い、広く情報提供を行いました。
【実施効果】新たな事業展開や販路拡大などの事業計画策定の基礎的資料に活用しました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
１回	１回	A

②中小企業景況調査の情報提供

【実施内容】北海道地域の経済動向調査・分析によって得られた情報を、ホームページへの掲載等により広く情報提供を行いました。
【実施効果】新たな事業展開や販路拡大などの事業計画策定の基礎的資料に活用しました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
４回	４回	A

Ⅱ経営状況の分析に関すること【指針①】

①税務相談時における財務分析の実施

【実施内容】売上高及び売上総利益や営業利益等の定量分析を行い、経営状況の把握と経営上の課題や問題点の洗い出しを行いました。
【実施効果】２会計期間の経営指標による経営分析の結果を小規模事業者に提供することにより、財務状況における自社の現状と課題が明確化され、これに基づき策定する事業計画の基礎的な情報として活用が図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
２００件	２１６件	A

②小規模事業者の財務分析の実施

【実施内容】中小企業基盤整備機構の「経営自己診断システム」を活用し、「収益性」「安全性」「成長性」等についての財務分析を実施しました。
【実施効果】経営計数等のデータをグラフや表などでわかり易く「見える化」でき、新たな事業展開や販路拡大においての基礎資料に活用出来ました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
３０件	７件	C

③ヒアリングシートを活用した非財務分析の実施

【実施内容】ヒアリングシートを活用して、ビジョンや内部・外部環境、商品・サービスの特徴やターゲット等についての分析を実施しました。
【実施効果】小規模事業者に対して情報提供することにより、経営課題の抽出や新たな事業展開に向けた事業計画策定の基礎資料に活用出来ました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
３０件	７件	C

Ⅲ事業計画策定支援に関すること【指針②】

①事業計画策定セミナー・個別相談会の開催による事業計画策定支援

【実施内容】昨年度の開催ではセミナーが２回で７名、個別相談が２回で４名の参加となり、参加人数が少数であったため、今年度のセミナー・個別相談会の開催は見送りました。
【実施効果】―

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
４回	―	D

②創業セミナー・個別相談の開催による創業計画策定支援

【実施内容】今後の創業にあたっての心構えや事業計画作成のポイント、音更町の空き店舗補助金等についての説明を実施しました。セミナーは８名の申込みがあったものの当日は５名の参加となり、個別相談については４名の実施でした。
【実施効果】創業にあたっての事業計画の重要性や各種施策等についての周知が図れ、個別相談では創業計画書のブラッシュが図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
６回	５回	B

③事業承継支援の実施

【実施内容】今後事業承継が必要となってくる小規模事業者に対して、

専門家による個別相談を行なうことにより、今後の進め方等についての説明・助言を行ないました。

【実施効果】事業承継にあたって必要な知識の習得や課題等の整理が図れ、円滑な事業承継を行うことが出来ました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
２件	５件	A

④事業拡大、継続を目指した雇用環境改善支援

【実施内容】―

【実施効果】―

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
２件	―	―

Ⅳ事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

①事業計画策定後のフォローアップ

【実施内容】事業計画及び事業承継計画の策定事業者に対して、事業実施に係るフォローアップ支援を継続して実施しました。

【実施効果】計画通りに進んでいない事業者に対して、今後の対応等についての助言を行なったことにより、事業計画に沿った事業の実施に繋がった。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
２９件	９件	C

Ⅴ需要動向調査に関すること【指針③】

①即売会等の開催時における消費者需要動向調査

【実施内容】音更ら～麺村の開催時において、来場されたお客様のニーズを把握するために、アンケート調査を実施しました。

【実施効果】調査したアンケート結果は今後提供する商品や商品開発等のためのツールとして活用を図ります。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
３５０件	６１６件	A

②展示会や商談会の出展時における需要動向調査

【実施内容】「北海道味覚マルシェ in 札幌」と「北の味覚、再発見」において、バイヤー等に対してアンケート調査を実施しました。

【実施効果】出品した商品に対する調査を実施したことにより、商品及び価格等の評価や、今後の販路拡大に向けた改善点等を把握することができました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
６０件	１２５件	A

Ⅵ新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

①即売会開催等による販売促進支援

【実施内容】販売促進即売会として「音更ら～麺村」を開催するとともに、音更ら～麺の取扱事業者支援として、共同チラシを作成してスタンプラリーを実施し、集客向上に取り組みました。

【実施効果】音更ら～麺村では当日の来場者数が約 3,000 名、販売チケット枚数が 1,133 枚となり、町内外の住民に対して音更ら～麺と取扱事業者を知って頂く良い機会となりました。スタンプラリーでは実施期間の 10/1～1/31 の間にスタンプカード 10,000 枚を配布し、6 店舗以上で飲食した方が 51 人、全 11 店舗で飲食された方が 43 人となり、多くのお客様に各個店を利用していただくことができました

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
１回	２回	A

②展示会・商談会への出展による販路開拓支援

【実施内容】「北海道味覚マルシェ in 札幌」に１社と「北の味覚、再発見」に２社が出展し、各バイヤーへＰＲを実施しました。

【実施効果】出展時には内容の濃い商談ができ、見積依頼があった事業

所が９社、その後取引が始まった事業所が１社あり、出展によって販路開拓に繋がりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
２件	２件	A

③ＩＴを活用した販売促進支援

【実施内容】小規模事業者持続化補助金を活用して、ＷＥＢサイトでの通販システムや受注システム、事業者ＰＲを総体的に実施するための、販売促進支援を実施しました。

【実施効果】通販システムや受注システムからの注文や問合せも増えており、ＩＴを活用した販売促進に大きく繋がった。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
２件	２件	A

Ⅶ地域経済の活性化に資する取組

①地域特産品のブランド化による経済活性化

【実施内容】「音更ら～麺」のＰＲ・ブランド化に向けた会議を５回開催し、販売促進のために「音更ら～麺村」の開催と、取扱店舗を回遊いただくためにスタンプラリーを実施して、各店舗の認知度向上と来店機会創出による経済活性化を図りました。

【実施効果】地域特産品である「音更ら～麺」の消費拡大によるブランド化が図れた。また、取扱店舗の認知度も向上しリピーターの増加にも繋がりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
２回	５回	A

②地域イベントによる経済活性化

【実施内容】音更夏まつりやみのり～むフェスタおとふけの開催により、地域の小規模事業者の出店による商品の販売とＰＲを図るための出店支援を行ない、地域経済の活性化を図りました。

【実施効果】出店した小規模事業者の販促活動等を支援することで、売上確保や販路拡大に繋がりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
１回	２回	A

Ⅷ他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

①各支援機関との情報交換

【実施内容】十勝管内経営指導員研修会での全体会議や日本政策金融公庫国民生活事業とのマル経協議会などで情報交換を行いました。また、税理士会や金融機関との懇談会において支援ノウハウの情報交換を実施しました。
【実施効果】他の支援機関の取り組み等を情報交換することにより、支援ノウハウの向上を図ることができました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
１６回	１６回	A

Ⅸ経営指導員等の資質向上等に関すること

①各種研修会への参加

【実施内容】中小企業大学校旭川校での専門研修への参加と、十勝管内経営指導員研修会や伴走型小規模事業者支援推進事業会議等の出席により研鑽を図りました。
【実施効果】研修会等への参加により、支援ノウハウの向上を図ることができました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
１８回	１９回	A

②職員会議による情報交換

【実施内容】担当業務や支援内容等の情報共有を図るとともに、今後の業務予定等の確認を行いました。
【実施効果】職員同士で業務内容のチェックができ、間違いや対応忘れなどの未然防止に繋がりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
１２回	７回	C

③専門家派遣事業への同行

【実施内容】専門家の派遣支援に同行し、支援の現場に立ち会うことで資質の向上が図れました。
【実施効果】専門的な支援内容等においての指導や助言方法等を間近で見聞することにより、今後の支援ノウハウの向上が図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
―	４回	―

X事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

①モニタリング検討委員会の開催

【実施内容】経営発達支援計画の説明を行い、今年度の実施状況と実績報告により、検討委員より評価・見直しについての提言をいただき、ＰＤＣＡの取組を実施しました。
【実施効果】今年度の取組における評価や検証の方法について提言をいただき、今後の事業実施における手法や課題が明確になりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
１回	２回	A

村瀬議長がこの説明を受けて、今回取り組んだ事業及び事業評価について、出席委員に対して意見等を求めたところ、原口委員より個別相談を予定していたものの、相談者の都合で当日に来れなくなったこともあった、と意見があり、実績は必要であるが、内容が充実していることが大事である。続いて商工労政係長清水氏からITを活用した販売促進支援とは具体的にどのようなことをしたのかと意見があり、ホームページに通販システムを導入し、販売促進支援を行った旨、説明した。
村瀬議長が他に意見等が無いかを議場に求めたが特になく、出席者全員異議なく承認した。

（２）事業継続力強化支援事業の実施状況報告及び事業評価等について

村瀬議長より事務局に対して説明を求め、角谷経営指導員が別添資料の「事業継続力強化支援計画実施状況報告書」に基づき実施内容についての説明を行う。村瀬議長が出席者に対して意見等がないか諮ったところ、BCP を作成している事業者は優先的に補助金等の支援を受けられるのかと、意見があり、商工観光課長桜井氏から内容にもよるが、BCP を作成しているからといって支援等を受けられる優位性はないものの、有事の際に準備しているのとしていないのでは採択までの時間に差が生じる旨の説明があった。その他発言はなく、出席者全員異議なく承認した。

（３）その他について

次年度が最後の年（５年計画）であるため、今後の課題や目標などの意見を提案してもらうよう角谷経営指導員から説明がある。その後、村瀬議長が出席者に対して他に意見等がないか諮ったところ、特に発言はなく、出席者全員異議なく承認した。

すべての議事が終了し、山本会長が閉会の辞を述べ、モニタリング検討委員会を終了した。時に 14 時 40 分であった。